

科目名称	統計学				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Statistics				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	513100	授業形態	講義	単位数	2				
教員氏名	呉 海鍾		年次配当	1 年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング			(有)・無			
授業概要 及び授業方法	<p>本講義では、社会調査に必要なデータの読み解き方、特徴のとらえ方、分析の仕方などについての統計学の基礎的知識を身につけるとともに、社会調査に必要な知識も併せて身につけることを目的としている。地域の諸情報を有効に活用し、地域社会調査に必要な定量的データ分析法を学ぶ。演習を中心とした構成で、ネット上でデータを探索し、行政等がもつ統計オープンデータを利活用することができる。さらに分析結果をアウトプットして分かりやすく可視化することを行う。特徴は、パソコンで行う実習要素が多く含まれており、さまざまな方法論の観点から地域というものの見方・捉え方についても理解を深めることができる。</p>								
関連する科目	社会学、社会学概論、現代社会論、グローバリゼーションと労働、地域貢献プロジェクト				卒業認定(学習成果)との関連		①, ③		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明</li> <li>2. 統計とは何か：統計の役割</li> <li>3. 基本統計量①：分析手法の解説（代表値と散布度を計算する）</li> <li>4. 基本統計量②：演習実施（課題・データ分析アプローチ）</li> <li>5. 地域データ分析の使い方と意義</li> <li>6. 相関分析①：分析手法の解説（定量データの関連性を分析する）</li> <li>7. 相関分析②：課題実施（課題・データ分析アプローチ）</li> <li>8. 統計データ入手法と利活用方法</li> <li>9. クロス集計・分析①：分析手法の解説（カテゴリデータの関連性を分析する）</li> <li>10. クロス集計・分析②：演習実施（課題・データ分析アプローチ）</li> <li>11. 分散分析：分析手法の解説（変数間の相違を比較する）</li> <li>12. 回帰分析：分析手法の解説（単回帰、重回帰分析）</li> <li>13. 地域データ分析の可視化（グループワーク）</li> <li>14. 最終課題発表会：地域データ分析結果</li> <li>15. 最終課題発表会：地域データ分析結果</li> </ol>								
授業時間外の学習	毎週授業のテーマに関連する事項について書籍、論文又はインターネット等を利用して調べる等必ず予習をしてから授業に臨むこと。また、復習は必ず毎週1時間程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにしておくこと。								
授業の到達目標	<p>実際にパソコンを使って政府統計の総合窓口（e-Stat）などからデータをダウンロードし、分析ツールを使った計算方法で地域社会に必要な分析能力と可視化能力を養うことを目標とする。</p> <p>①統計学の基礎的な用語、データの見方、特徴のとらえ方、分析方法に関する基礎的な知識を身につける。  ②分析ツールを使用して、統計分析結果を図やグラフに可視化して視覚的に説明できる。  ③社会調査を実践し、レポートとして取り纏めることができる。</p>								
課題に対するフィードバック	課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。				評価方法・基準		①授業への参加度、小テスト・ミニレポート、グループワーク等（50%）、②期末課題レポートと発表（50%）で算出する。		
テキスト	本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。								
参考書	適宜授業で紹介する。								
備考	<p>①期末レポートは形式や最低文字数等を統一するためMicrosoftのWordを使用して作成して提出することを義務付ける。その為、手書き等のMicrosoftのWord以外の形式での提出は対象外とする。この点もきちんと理解したうえで受講すること。</p> <p>②期末レポートが未定出で評価が「不可」となった学生の再試験の受験は認めないこととする。</p>								